

明けましておめでとうございます 神さまの恵みと希望の聖なる年の初めに

校長 Sr.大山 江理子

新年明けましておめでとうございます。
新しい年を迎えお喜び申し上げます。ご家族で楽しい冬休みを過ごされたことでしょうか。学校は再び子どもたちの元気な声で活気づいています。多くのクリスマスカード、年賀状をいただきました。ありがとうございました。それぞれのご家庭に豊かな主の恵みをお祈りいたします。今年の新年は元旦・2日と安寧に過ごすことができました。皆様も昨年を思い起こしながら祈りを新たにされたことと思います。新たな年が世界に平和をもたらすようにともお祈りいたします。

子どもたちの年賀状は新しい年への期待や決意、願いに満ちています。一人ひとりの子どもたちの努力が大きな実を結ぶものとなるよう、皆様と共に支えてまいりたいと思います。

カトリック教会は2025年を「聖年」と定め、教皇フランシスコは「希望は欺かない」というメッセージをもって、聖なる年の行事を始めています。「聖年」とは25年ごとに教会で定める、神の恵みに特別にあずかる年です。ローマ、バチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が2024年12月24日に開かれ、巡礼者としてその扉を通る人は罪の赦しの特別な恵みを神から受けることになっています。通常は閉ざされているこの扉は2026年の1月6日まで開放されます。誰もがローマに行くこともできないことから、各地の教会でも様々な祈りの計画がなされています。



「希望は欺かない」という教皇フランシスコのメッセージに導かれて、新しい年を過ごしてまいりましょう。新しい年に実りを願う子どもたちにとっても、力強いメッセージです。

世界は課題にあふれ、解決の糸口をみつけるのも困難です。しかし、イエスに希望をおく人は、その希望は欺かれぬと教皇フランシスコは説いています。イエスの希望は十字架の死と復活を経た確かなものだからです。そして、イエスに希望をおく人は、世界の希望のしるしとなるようにとも促されます。自分だけが神の恵み・赦しを受けて安心していることはできないのです。世界の課題の解決に向けて働くよう求められます。取り組むべき課題は数々あります。教皇フランシスコは、平和の回復、子どもの誕生の祝福、自由のない人々の解放、病気の人々へのケア、若者・移住者・高齢者・困窮している人々を顧みることなど具体的な課題をあげ、特に富裕な人々・国々には世界全体に対して特別に課されている責任もあるとしています。

このような課題を一挙に解決できるものではありません。しかし、希望をもって自分のできる何かに取り組むよう、私たちは呼びかけられています。

聖心の子どもたちもイエスからいただく希望をもって進みます。自分の成長の課題にまっすぐに向き合い、「私から私たちへ」の心で広く世界に目を向けて、できることを探します。この2025年が恵み多いものとなりますよう祈りをこめて学校生活を始めます。



小さなことに愛をこめて

副校長 中塩 百合

新年おめでとうございます。新しい年を迎え、子どもたちは新たな目標をもって進んでいきます。一人一人の目標や願いを支えられるよう、私たち教職員も共に歩んでまいります。神の大きな眼差しが皆様と世界の人々に注がれ、平和がもたらされるようお祈り申し上げます。

初等科では、年に3回「ハイチデー」を行い、お弁当のおかず代を世界の子どもたちのために寄付する活動をしています。40年ほど前、カトリック・クリスト・ロア修道会(本部カナダ)に所属しているシスター須藤昭子は、聖心の子どもたちにハイチの困難な状況をお話くださいました。ハイチデーは、ご講演をきっかけに当時の児童会が始めた活動で、聖心の子どもたちが世界に視野を広げる一歩となっています。JICA(独立行政法人国際協力機構)や国連 UNHCR 協会(国連難民高等弁務官事務所)、国境なき医師団など世界規模の仕事に従事する卒業生の中には、この活動を通して世界に関心をもったと話してくれる人もいます。子どもたちも、継続的なハイチデーの活動を通して世界の出来事に目を向け、戦争、貧困、飢餓、環境、教育など様々な課題に対して、どうしたらこの状況を変えられるか、自分の力を誰かのために使えないかという問いを持ち行動しています。



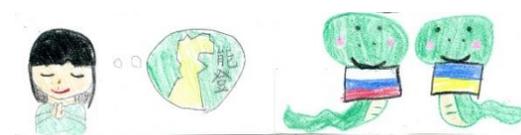
2022年から続くロシアのウクライナ侵攻は、終わりが見えません。子どもたちの日々の祈りにも、戦争の終結を願う気持ちが伝わってきます。昨年初等科は聖心会のシスター頴川を通して、ウクライナの子どもたちと交流する機会を得、児童会を中心に3回ほどオンラインで繋がりました。初等科生が心を込めて送った文房具を大事そうに抱きしめながら、感謝の言葉を伝えるウクライナの子どもたち。欲しいものを聞いたときに「スイーツが食べたい」と本音を言ってくれる高校生。微笑ましい交流に、一瞬戦時中であることを忘れてしまいそうになりますが、電気が不通になるかもしれない、サイレンが鳴ったらすぐにシェルターに避難するという言葉に、現実を知ります。先月、冬場の寒さを凌いでほしいと送った靴下と募金が手元に届いたと連絡がありました。保護者の方のご協力にあらためて感謝申し上げます。私たち一人一人の力は小さいですが、皆で知恵を出し合い力を合わせることは当たり前と思える子どもたちを、これからも育てたいと思います。



“大切なのは、どれだけ多くをほどこしたかではなく、それをするのに、どれだけ多くの愛をこめたかです”
(マザー・テレサの言葉より)



ウクライナの子どもたちとの交流を現地からサポートして下さったドン・チェバ先生が来日するとの一報が入りました。子どもたちと交流できる場を是非作りしたいと思います。



《イラスト：
児童からの
年賀状より》

1月の行事予定

- | | | | |
|--------|----------------------------|----------|-----------------|
| 9日(木) | 新年の祈り/授業開始 | 28日(火) | 4年英検 Jr.(4限) |
| 11日(土) | 5年転入・編入試験 | 29日(水) | 集団下校グループの集まり |
| 15日(水) | 2nd百人一首大会 | 31日(金) | 学習発表会児童観覧日(SBH) |
| 22日(水) | 5年まどめのテスト② | | |
| 24日(金) | 学習発表会総演習(1~4限)
中等科入学手続き | | |
| | | ※2月1日(土) | 学習発表会 |
| | | 2月3日(月) | 学習発表会代休日 |